

沼津茶と 茶の湯・茶会文化

ぬまづの宝
100選
さんぽ



5月1日(水)は八十八夜。愛鷹山の山裾には新芽の清々しい緑色の茶畑が広がっています。

昭和58年、「ぬまづ茶」は皇室献上の榮譽に浴し、市制60周年に合わせてぬまづ茶会が開催されました。今年も5月12日(日)に沼津御用邸記念公園で茶道7流派が集う第42回ぬまづ茶会が開かれ、季節の風情を感じる四季茶会、沼津市芸術祭茶会に代表されるように、沼津では豊かな茶会文化が築かれています。

茶会に招いた人も客も互いを敬い、心を通わせ、気持ちのよい一体感が味わえる茶会で、穏やかな時間を楽しみませんか。

☎文化振興課 ☎055-934-4812



ラジオでも「ぬまづの宝100選」の魅力をお届けしています！

広報ぬまづと
運動企画

エフエムぬまづ(76.7MHz)では「深掘り！ぬまづの宝100選」を放送中です。宝にゆかりのあるゲストをお招きし、パーソナリティ神田あや乃さんが現地取材しながら、個性と魅力にあふれるぬまづの宝100選を紹介します。今年度は「ぬまづの宝100選さんぽ」とコラボレーション！5月は、沼津市茶道連盟会長の東海庵龍子さんをゲストに、茶の湯の魅力を伺います。

毎月第1・3土曜日の10時20分頃からラジオやインターネットでお聞きいただけるほか、過去の放送は市公式ポッドキャストで配信しています。

☎広報課 ☎055-934-4839



詳細はこちら



広報ぬまづ 2024年5月1日号 No.1712 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

がいこくごばん
こうほうぬまづ
はこちら



沼津市の住民基本台帳人口(4月1日現在) 人口 18万6,676人 男性 9万2,065人 女性 9万4,611人 世帯数 9万3,608世帯

歴史に思いを馳せて

阿野全成と大泉寺

ぬまづの宝
100選
さんぽ



2022年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で話題となった阿野全成は源頼朝の異母弟、義経の同母兄です。7歳で平氏に捕らえられるも助命され出家させられましたが、頼朝が平氏討滅の拳兵をすると、ひそかに寺を抜け出し、頼朝の元に参じました。頼朝を手助けした功績により、全成は駿河国阿野庄（沼津市東原、今沢・富士市吉原付近）を与えられ、姓を阿野と名乗り現在の阿野寺に居館を構えました。寺には阿野全成と息子の時元のものと伝わる墓や「首掛松」「いちろう観音」などの伝説が残っています。

境内を散策しながら、地域の歴史を再発見してみませんか。

◎文化振興課（文化財センター）

☎055・935・5010

第3回阿野祭

阿野全成の命日に、墓前での供養法要や生物供養祭、全成にまつわる講話を行います。弓が得意だったといわれる全成にちなんで弓道演舞奉納や子ども弓矢大会、祭りを盛り上げる音楽ライブやキッチンカーでの販売などもあります。

とき 6月23日(日)、10時～15時

ところ 大泉寺(井出)

※当日、直接会場へどうぞ。

◎阿野祭事務局(大泉寺内)

☎055・966・2016

◎観光戦略課

☎055・934・4747





沼津の海

もうすぐ海水浴の季節。

沼津の海水浴場は、きれいな水が自慢です。環境省の水質調査では、最高ランクの「水質が特に良好な水浴場」に選ばれた全国7カ所の海水浴場のうち、3カ所が沼津の海水浴場だったこともあるんですよ。

また、波が穏やかで透明度の高い沼津の海は、海水浴はもちろん、釣りやマリンスポーツも人気です。

大瀬崎や井田港周辺はダイビングの名所として知られ、多くのダイバーや、シュノーケリングを楽しむ人たちが訪れます。

ほかにも、ウインドサーフィン、カヤックやSUP(スタンド・アップパドル)などが楽しめる沼津の海は、アクティビティの宝庫です。

今年の夏は、私たちの身近にある、美しく豊かな沼津の海を満喫してみませんか。

☎観光戦略課 ☎055-934-4746





伊豆石産業遺産群

伊豆半島やその周辺で採掘される良質な石の総称として「伊豆石」という言葉が使用されてきました。沼津から産出した伊豆石は江戸初期には江戸城や駿府城、明治期には沼津御用邸や葉山御用邸、日本銀行本店などの数々の建築物に使用されたという記録が残っています。

西浦久連の公民館の近く、海岸線から100mほど歩いたところには伊豆石を使用した特徴的な石造建築のまちなみが残っています。色や模様、表面の加工など個性豊かな伊豆石で造られた蔵や住宅が並び、どこか懐かしさを感じさせる沼津が語る風景のひとつです。

※建物は個人宅が含まれています。無断での立ち入りや撮影等には十分ご注意ください。



ぬまづの宝
100選
さんぽ

わたしのまちには、
映える水門があるんです。



沼津港大型展望水門

びゅうお

東海地震の津波を防ぐために沼津港に造られた巨大な水門「びゅうお」。津波をシャットアウトする扉体は、幅40m、高さ9.3m、重量は406tと日本最大級。展望施設としても親しまれており、地上30mの高さにある展望回廊からは駿河湾、千本松原、そして富士山を360度の大大パノラマで楽しむことができます。展望施設には、深海魚をテーマとしたトリックアートや床一面が深海のようにデザインされた通路などがあり、深海の魅力を存分に紹介しています。

沼津港を訪れた際には「びゅうお」からのパノラマビューを楽しんでみてはいかがでしょうか。

📍びゅうお ☎055-963-3200 📍観光戦略課 ☎055-934-4746



広報ぬまづ 2024年9月1日号 No.1720 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

がいこくごばん
こうほうぬまづ
はこちら



沼津市の住民基本台帳人口(8月1日現在) 人口 18万 6,463人 男性 9万 1,987人 女性 9万 4,476人 世帯数 9万 4,183世帯



沼津アルプス

NUMAZU ALPS

沼津アルプスは、香貫山^{かぬきやま}から南へ横山^{よこやま}、徳倉山^{とくらやま}、志下山^{しげやま}、小鷲頭山^{こしづさん}、鷲頭山^{わしづさん}、大平山^{おおひらやま}と続く山稜線^{さんりょうせん}の総称で、地元の愛好会によって整備され、その名が付けられました。初心者からベテランまで多くの登山者を惹きつける沼津アルプスの魅力は、低山ながらアップダウンがあり変化に富んだ登山道と、頂稜から見える駿河湾や富士山などの素晴らしい景色です。また、各峠に続く数々の登山口があるため、縦走するもよし、好きな山だけに登るもよしと、レベルや時間に合わせてコースを選ぶことができます。

この秋は、沼津アルプスで豊かな自然と絶景を満喫してみませんか。

☎観光戦略課 ☎055-934-4746



観光ポータル



ぬまづの宝100選



広報ぬまづ 2024年10月1日号 No.1722 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

がいこくごばん
こうほうぬまづ
はこちら



沼津市の住民基本台帳人口(9月1日現在) 人口 18万 6,318人 男性 9万 1,912人 女性 9万 4,406人 世帯数 9万 4,196世帯



沼津の歌



沼津市には、地域の人々に愛され、今なお歌い継がれている様々な歌があります。そのひとつである「この子のかわいさ」は親が子を想う愛情の深さを星や千本松原の松の数に例えて歌った沼津の伝統的な子守唄です。千本浜公園にはこの歌の歌詞が刻まれた石碑が建てられています。

他にも、沼津には市制100周年を記念して新たに編曲された「沼津市歌」、地域の祭りなどで踊られる「沼津音頭」、狩野川花火大会のフィナーレで流れていた「沼津夜曲」などが人々に親しまれてきました。

今も昔も変わらない名曲たちに触れて、沼津の魅力を感じてみませんか。

☎文化振興課 ☎055-934-4812



ぬまづの宝100選



©NUMAZU City Office

広報ぬまづ 2024年11月1日号 No.1724 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

がいこくごばん
こうほうぬまづ
はこちら



沼津市の住民基本台帳人口(10月1日現在) 人口 18万 6,200人 男性 9万 1,851人 女性 9万 4,349人 世帯数 9万 4,214世帯



沼津駅より徒歩2分の沼津仲見世商店街は、南北250mの全蓋アーケード(仲見世パルナード)とこれに交差する3本の東西通り(一番街・コミナード・三番街)から成り立ちます。戦後まもない青空市場からスタートし、次第に多くの店が出店し、県東部随一と言われる広域商店街へと成長しました。個性あふれるお店が軒を連ねる商店街では、七夕まつりなどの季節のイベントやストリートピアノ、毎月15日開催の十五市(いこーいち)など多彩な催しも行われ、まちのにぎわいや交流の場となっています。

これからの季節、歳末の売り出しやクリスマスイルミネーションでにぎわう沼津仲見世商店街に足を運んでみませんか。

☎商工振興課 ☎055-934-4748



沼津仲見世商店街 ホームページ
ぬまづの宝100選



広報ぬまづ 2024年12月1日号 No.1726 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

がいこくごばん
こうほうぬまづ
はこちら



沼津市の住民基本台帳人口(11月1日現在) 人口 18万 6,091 人 男性 9万 1,838 人 女性 9万 4,253 人 世帯数 9万 4,264 世帯



金剛寺開祖

文覚上人と金女郎狐の縁

平安時代最末期、金剛寺の開祖、文覚上人のもとに金色の毛並みを持つ、美しいきつねが現れました。

きつねは早世してしまった自らの子の供養を文覚上人に願い出たといいます。上人はきつねの深い母性愛に感銘を受け、快く供養をしたそうです。上人の丁寧な祈りによって、子ぎつねの魂は安らに彼岸に導かれたと伝えられます。西間門の金剛寺の境内にある稲荷神社には、母ぎつねが「金女郎狐(金色の雌狐)」として、丁寧に祀られています。

この稲荷神社は優しさや家族愛の象徴として尊ばれ、地元の人や参拝者が家内安全や学業成就、親子の絆を願って訪れる場所となっており、文覚上人ときつねのハートフルな伝説は金剛寺の霊験譚として今日も親しまれています。



さらにディープな情報はエフエムぬまづで聴くことができます！

エフエムぬまづ(76.7MHz)では「深掘り！ぬまづの宝100選」を放送中です。宝にゆかりのあるゲストをお招きし、パーソナリティ神田あや乃さんが現地取材しながら、個性と魅力にあふれるぬまづの宝100選を紹介します。毎月第1・3土曜日の10時20分頃からラジオやインターネットでお聞きいただけるほか、過去の放送は市公式ポッドキャストで配信しています。

☎広報課 ☎055-934-4839



ぬまづの宝100選



広報ぬまづ 2025年2月1日号 No.1729 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は☎410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

がいこくごばん
こうほうぬまづ
はこちら





スカンジナビア号

Scandinavia (Stella. Polaris)

上の写真は、かつて西浦の海の上に浮かび、多くの人に親しまれていた「スカンジナビア号」という美しい船です。

1926年にスウェーデンで「ステラポラリス(北極星)」という名前で建造され、世界中を旅した後、沼津で日本初の海上ホテルやレストランとして利用されました。船からは駿河湾の青い海と富士山が見え、豪華な船内では家族や友人、恋人との特別な時間が過ごせました。高校生がテーブルマナーを学ぶ場にもなり、地元の人々にとって大切な存在だったそうです。



(スカンジナビア資料館提供)



(スカンジナビア資料館提供)

その後、2005年に営業を終え、スウェーデン企業に売却され、新たな地へ向かう途中に和歌山県沖で沈没してしまいました。今は、水深約72メートルの海底に静かに眠っています。

スカンジナビア号は世界的な海事遺産であり、現在、有志たちが船や歴史のことを未来に伝えようと活動しています。

また、アニメ「ラブライブ！サンシャイン!!」には、この船を思わせる船が登場します。その影響もあり、往時を知らない世代にも関心を集め続けています。

スカンジナビア資料館



「海のステージ」(西浦木負)の中にあるスカンジナビア資料館。スカンジナビア号は、1970年から2006年まで海のステージの隣に係留されていました。

資料館では、ステラポラリス時代に使われていた航海日誌や青焼き図面、模型などが展示されています。

遊びにきてね♡



館長の
前島さん

スカンジナビア号講演会

スカンジナビア号や、船と歩んだ沼津の歴史や思い出、海の底で静かに鼓動するスカンジナビア号の今について講演会を開催します。

と き 5月17日(土)、13時～16時

ところ 内浦地区センター

テーマ スカンジナビア号の物語
～歴史を刻んだ船、そして海底への旅～

定 員 120人程度

申込方法 専用フォームで

※詳細は、ホームページをご覧ください。専用フォーム



ホームページ



専用フォーム



広報ぬまづ 2025年3月1日号 No.1731 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703 ■FAX 055-935-1560 ■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。

がいこくごばん
こうほうぬまづ
はこちら

